

津島市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定 第3回蛭間小学校区懇談会 開催報告

新たな「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を確認し 今後の活動を展望

■テーマ：「蛭間小学校区における地区懇談会の成果と計画（案）を確認し
今後の地域福祉活動について話し合おう」

■日時：平成28年2月5日（金）18：00～19：30 ■場所：蛭間コミュニティセンター

■参加者：計14名（参加者8名、事務局6名）

【開会、趣旨説明】

事務局である福祉課より、本日の会議の趣旨や検討テーマ、スケジュールについて確認しました。

今回は、新たに策定した「第2期津島市地域福祉計画・第3期津島市地域福祉活動計画」の概要を報告するとともに、蛭間小学校区の「地区懇談会」の開催結果について説明しました。

続いて、平成28年度からの地域福祉活動の進め方と、そのために地区懇談会を継続することやコミュニティ推進協議会における体制づくりについて意見交換することを説明しました。



【「津島市地域福祉計画・津島市地域福祉活動計画」の概要説明】

「第2期津島市地域福祉計画・第3期津島市地域福祉活動計画」の、基本理念、基本目標と基本施策、重点的な取組み、計画の推進方法について、概要を説明しました。

また、計画書の参考資料として添付する「地区懇談会結果概要」を説明しました。

これに基づき、蛭間小学校区における地域福祉課題を解決するための取組みアイデアを振り返って、今後の活動や体制づくりなどについて意見交換を行いました。

【今後の福祉活動のあり方や、体制づくり、地区懇談会の継続について】

今後の福祉活動については、この小学校区で特に重点的に進めるべきことについて意見を交換しました。体制づくりについては、地区社会福祉協議会の設立を目指すことについて、また、そのための土壌づくりとしてコミュニティ推進協議会において福祉部会を設置すること、あるいは平成27年度に3回開催した地区懇談会を今後も続けることについて話し合いました。あわせて、平成28年度に開催を目指す第1回の地区懇談会の時期についても検討しました。

意見交換の結果は、裏面のとおりです。

今後の福祉活動のあり方や、それを進めるための体制づくり、地区懇談会の継続

今後、取り組むべき福祉活動について

- 本当に困った人の声を把握することは難しい。
- 現状でも、様々な活動を実践しているが、活動資金が不足している場合もある。
- 各町内の具体的な問題を把握してから共通する課題に対応すべきである。たとえば、日中を含む一人暮らし高齢者、引きこもりがちな高齢者が集まれる居場所づくり、そのための町籍簿の活用、放課後クラブと世代間交流、生きがいづくり
- 老人会サロンの拡充や、老人クラブの発足を促進していくことが必要である。
- 進んでいる町内会の知恵や工夫、ノウハウを他の町内会に伝えるための勉強会、交流会、見学会を開催する。17町内の間にある格差を無くす。

地域福祉活動を進めるための体制づくりについて

- 新住民含めて顔の見える関係づくりを行い、世代間・地域間の情報共有を進める。
- 新しい若いメンバーが不可欠であり、関心のあるテーマに応じて集まってもらう。
- 事務局の方針として、蛭間小学校区が重点的に取り組むべき事業と目標を明確にすることが必要である。
- 既存の活動を最大限生かしながら、実施することを決める。
- 誰が、何をやるのか、どれぐらいできたのか、目標、実施項目ごとのスケジュールと進行管理のモノサシを作って明らかにする。なぜできなかったかを明らかにして、その先について検討して進めていく。
- 専門性の必要な介護サービスなどは、専門家・事業者が対応する。

【第3回地区懇談会でのご意見・ご感想(アンケート結果より)】

- 行政から地元は何を求めたいのか提示してほしい。予算がないが、高齢者の食事会をやってみたい。
- 地区社会福祉協議会を次年度に立ち上げ、予算をつけていただきたい。
- 目標を決めて目標達成の動きを決める。
- 子ども会の役員で会合をやる
- 参加されている方々それぞれ意見を聞くことができて良かった。その思いをつなげることの難しさも参加していて感じる事ができた。
- 住民主体で活動することは難しいと思うが、上手に導いていただきたい。